

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年3月前半）

### 1. 経済

- 米格付会社のムーディーズ社、4日に国立貯蓄銀行（BCEE）の長期債務格付を「Aa1」と維持し、見通を「ネガティブ」から「安定的」へと見直した。（4日付ペーパージャム誌電子版）
- 2014年2月のインフレ率は年率0.9%（前月は1.5%）。（5日付統計局プレスリリース）
- RTL社、2013年のEBITDA（利払い・税・償却前利益）は11億5200万ユーロ（前年比+6.9%）、純利益は870百万ユーロ（同+45.7%）と増加した一方、収益は58億8900万ユーロ（同▲1.8%）にやや後退した。（7日付ル・コティディアン紙）
- 当国鉄鋼関連企業であるポールワース（Paul Wurth）社、神戸製鋼所との間で、神戸製鋼が保有するMIDREX直接還元製鉄法に関し、建設ライセンス契約を2月19日に締結。（10日付ポールワース社プレスリリース）

### 2. 金融

- BIL、2013年の税引前利益は139百万ユーロで、前年比117百万ユーロの増加。預金（前年比+8.2%）、貸出高（同+5.3%）ともに増加している。（5日付ル・コティディアン紙）
- ライネシュ中央銀行総裁、イエレン米連邦準備理事会議長とワシントンで会談。（12日付中央銀行プレスリリース）

### 3. 政府

- ルクセンブルク政府・米政府間にて、FATCA（米国外国口座税務コンプライアンス法）実施に係る交渉がまとまり、2月27日に合意に至った旨発表。（4日付財務省コミュニケ）
- シュナイダー経済相、3月5日及び6日に予定されていたモスクワへの経済ミッションを延期する旨を4日に発表。（4日付経済省コミュニケ）
- シュナイダー経済相、4日にブリュッセル開催のEUエネルギー担当相会合に出席。（4日付経済省コミュニケ）
- グラマーニャ財務相、5日に2014年度政府歳入歳出予算案を国民議会に提出。（5日付ヴォルト紙電子版）
- ペテル首相（兼メディア通信相）、7日にトゥーレ・国際電気通信連合（ITU）事務局長とルクセンブルクにて会談。（7日付メディア通信総局コミュニケ）

- グラメーニャ財務相、ブリュッセル開催のユーログループ（10日）及びEU財務相会合（11日）に出席。（7日付財務省コミュニケ）
- シュナイダー経済相、当国デュドランジュ所在のプラスチック加工会社であるHusky Injection Molding Systems社のエネルギー効率化投資計画を支援するための協定に10日に署名。（10日付経済省コミュニケ）
- ベテル首相（兼メディア通信相）、LuxConnect社（ルクセンブルク政府100%出資）のデータセンターを12日に訪問。（13日付ヴォルト紙）
- EU行政協力指令の実施に伴う、一定のカテゴリーに属する収入（給与、役員報酬、生命保険、年金及び不動産収入）に係る情報の自動的交換を導入する法案が国民議会にて12日に可決。（13日付ペーパージャム誌電子版）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。